

護摩壇山と伯母子岳へ

9月17日土庫病院友の会山歩きクラブの例会登山で奈良県野迫川村の伯母子岳に登った。参加者は28名。女性18名。

中型観光バスで高野山を素通りし、高野龍神スカイラインの護摩壇山下の駐車場で休憩。30分の休憩時間中に、21人が護摩壇山ピストン。女性たちが元氣。

伯母子岳登山口への道は尾根沿いの山腹をうねうねと続くが、垂れ下った木の枝がバスの屋根をこすって、運転手さんは一苦労。

10時25分登山開始、登山路は

緩やかなアップダウンを繰り返して東に延び、12:35に伯母子岳着。ママコナがいくつもの群落をつく

て咲き誇っているが、お目当てのオオナンバンギセルは皆無。もう散ってしまったのか、姿を消したのか心配。ここの名物・ススキも痩せて勢いがないので、ススキの寄生者も共倒れの運命なのだろうか。

下山路は熊野古道小辺路の一部。ギンリョウソウモドキ、ヒキオコシ、ヤマジノホトトギス、オトギリソウ、マルミノヤマゴボウ、ヒメキンミズヒキなどが花を見せてくれた。

この日は、帰路、大淀町佐名伝の梨農家に寄り、食べごろになった秋の味覚を堪能することになっていたが、帰宅時刻との関係で、中止せざるをえなくなった。事前をお願いして待機してもらっていた山本ナシ園さんには、申し訳

ないこととなってしまった。

道路事情などもあったが、もとの計画に時間的無理があったのだ。ナシを土産にと期待していた参加者にもお詫びしなければならない。

ヒキオコシ→



ママコナ ↑ ↓大股近くで



二上山にも異変が起きたのだろうか

御嶽山の大噴火とそれによる登山者多数の遭難事故には、衝撃を受けた。この山には昨年7月、28名参加の集団登山をして、その雄大な景観を楽しんできただけに、複雑な思いでテレビ、新聞に見入った。遭難死された方々のご冥福をいのるばかりである。

大地震と大津波、台風と集中ゲリラ豪雨、それによる土砂崩れなどなど、文字通り・天変地異・が続いている。

キヌガサタケのデビュー

ほぼ毎日登っている二上山でも不思議なことが続いている。前号で触れたがキノコの女王とされるキヌガサタケが今夏次々と姿を現し、登山者たちのトピックニュースになったのだが、現れた場所が、毎日往復する道のすぐ傍らだったのだ。

どう考えても、私や仲間たちが見落とす筈がないところであっただけに、華々しいデビューが不思議がられたのだ。



↑ギンリョウソウモドキ



まったく同様の理由で、ツリフネソウや右下のピンクの花(種名不詳・どなたか教えていただけませんか)の出現にもみんなが首を←ツリフネソウかしげていた。

ギンリョウソウモドキにも驚いた。二上山で初めてみたのだ。ギンリョウソウとの区別がつかなかったが、花の中を覗いてみると柱頭がギンリョウソウのブルーと違って黄褐色をしていた。それ以外の相違点は門外漢の私には分からず、9月に出て来たことぐらい

でモドキとしていいのか、悩むところだ。

アキチョウジ→

昨年花を見せなかったアキチョウジが今年は色鮮やかにたくさんの花を着けたのはうれしいニュースだった。又、今春にはコブシ、オオアリドオシ、タニギキョウなど、二上山で初お目見えの花々があつて嬉しかったが、これらは今まで見落とししていたのだろう。 ↓ヤマジノホトギス

